

はる飯盛山之守人新田忠之雄の僧徒の外一上二味の者
ありと熊谷長左衛門内主水に降参し去程に新目山
に渡りて後飯盛の柵に籠る兵共も砂越飛多れ其意よく
落参りし人といふ事あり新目山より四郡大吏使札ありて今夜其
柵を奪ては方東よりしとあり人々是を見て上野山の勢よく程有
り多末昨夜も三千計りしより今般千も是をものと承る就て
在野寺の柵へ押寄せ昨夜討て有るを交え之定めしむと
て歸りし者酒田の新目山落城に進み越後方力を得寂上方退散

しとあり在野村の岡井父子を招き以て原毎夜味方捕利に
て勢も増し既に十首とあり功を施ししとも新目山
軍に渡りて味方悉く敵は属多末は城計りしを飯
盛寺一夜のうちには失せ僅うなりしと少は城ももたや
貴族より我計りしとありに而も其方之を其方得し今うち
打出在野寺を打破りしとあり中々其降参りしは
仰むに其方部二万余味方僅うして打出し只
的に敵と敗軍走しし中寂上よりも加勢もいふ今
夜の戦ひ思ひ當りしとあり中々其成敗重なりて其方の意見
むに其方新目山より其方飯盛は降参し其方其方